



### 新任教員・職員紹介

4月より病理診断部の仲間に加わったスタッフを紹介します。

**木原 淳 (きはら あつし) ; 病理学講座(統合病理学部門) 助教**



#### 【略歴】

2004年：東京医科歯科大学医学部卒業  
同：名古屋第二赤十字病院 臨床研修医  
2006年：東京都立府中病院 内科・救急診療科  
2007年：青梅市立総合病院 呼吸器内科  
2009年：NTT東日本関東病院 病理診断部 レジデント  
2014年：東京医科歯科大学大学院 医歯学総合研究科 博士課程  
2017年：同上修了  
同：自治医科大学 病理学講座 統合病理学部門 助教

卒後、内科医を経て、病理医になりました。主に興味のある分野は呼吸器・縦隔腫瘍、婦人科腫瘍、細胞診ですが、なるべく偏りのない診断病理学の習得を心がけています。臨床・病理の先生、技師さん達と協力して日常の病理診断を行うとともに、大学教員として学生教育や研究面でも貢献できればと思います。よろしくお願い致します。



**佐藤 沙弥香 (さとう さやか) ; 病理診断部 臨床検査技師**

#### 【略歴】

2017年：東邦大学理学部生物分子科学卒業  
同：現職

はじめまして。この度病理診断部に配属されました佐藤です。学生時代に一番興味があった分野が病理でした。そのため、実際に自分が病理診断部にいることに今でも驚いております。

1日1日を大切に、立派な技師になれるよう努力してまいりますので、宜しくお願いいたします。

**杉本 真 (すぎもと まこと) ; 病理診断部 臨床検査技師**

#### 【略歴】

2017年：帝京大学医療技術学部卒業  
同：現職

4月より病理診断部で勤務させていただくことになりました。社会人1年目でまだまだ至らぬ点が多々ありますが、1日でも早く貢献できるよう向上心を持って頑張ります。よろしくお願い致します。



### 退職のごあいさつ

病理診断部を3月いっぱい退職したスタッフからのご挨拶です。

**金井 信行 先生**



本学を3月で退職することになりました。岐阜の山奥(白川郷)で勤めたあと、29年前に一人で戻ってきました。病理診断部内外の方々にいろいろと教えて頂き、病理専門医試験も全国1位で合格でき、病理診断部、本院のレベルの高さを示すことができました。

卒業生として、学生教育に力を入れたいと考え、講義、実習の他、当院CPC(臨床病理カンファランス)を『月刊地域医学』に連載し、多くの卒業生から励みになったとの言葉を頂き、また成績不良者への対応が留年者数極小状態での医師国家試験3年連続100%の一助になり、さらには新学生寮の建設、構想に大きな役割を担うことができました。医学教育の経験は著書『メディカルインデックス(改訂済)』にまとめ、今や全国の医学生のCBT(共用試験)、国家試験対策のバイブルとなりつつあり、コメディカルの方々からも『一冊で医学全体がわかる!』との評価も受けています。私事では、病理学講座/病理診断部のメンバーと結婚でき、家族も8人となりました。4月からも非常勤講師、非常勤医員として努めさせていただきますので今後ともよろしくお願い致します。

**森田 剛平 先生**



3月31日をもって自治医大を退職、奈良に帰郷する事となりました。脾臓病理を学びに栃木にやってきた2年間、福嶋先生をはじめとして病理診断部の皆様に多々ご指導いただきありがとうございました。2年間は長いようであつという間に過ぎ去ってしまいましたが、奈良に帰ってから自治医大で学ばせていただいた事を生かし、脾臓病理の一端を担えるように頑張りたいと思います。

2年間ありがとうございました。

**三登 久美子 先生**



2年間という長いようで短い間、大変お世話になりました。2年前、病理の右も左も分からない状態でこの自治医大の病理診断部に来て、福嶋先生をはじめ多くの先生方、スタッフの方々、臨床の先生方に優しくご指導頂き、大変多くのことを学ぶことができました。本当に心から感謝申し上げます。ありがとうございました。4月から再び臨床に戻ることにになりますが、こちらで学んだことを活かし、病理と臨床をリンクさせながら、より良い医療を患者様に提供していけるようさらなる努力を重ねていきたいと思っております。

**星野 真紀子 技師**



入職当時は職員間の年代も近かったため、皆様にたすけられて仕事をしました。また交流会(ソフトボール大会やバーベキューなど)、忘年会の出し物、運動会、学会をかねた旅行など たくさんの行事に参加して、楽しい思い出がいっぱいです。

※薄切、染色(HE染色、特殊染色)などを長年にわたって手がけ、「自治医大の染色はきれいだ」と周辺病院の検査技師や病理医に知らしめてきた星野さんの技術力ですが、そのノウハウはきちんとした形として残っています。

あとは残った私たちが水をやり、さらに大きな花を咲かせていくことが星野さんへの恩返しだと思っています。これから新しいことにチャレンジするそうですが、これからも健康に留意され、ぜひご自身の夢を実現されますようお祈り申し上げます。これまでのご指導に感謝申し上げます。

病理診断部 臨床検査技師一同

### 検体受付および剖検受付時間

8:30 ~ 17:15 (内線 2257)

注) 土・日・祝祭日は剖検のみ受付 (内線 2257 or PHS 18218)

ニュースレター PATHO News 病理診断部 No.35 2017. 4. 17

発行 : 福嶋敬宜(ふくしま のりよし)

編集 : 飛田野清美(ひだの きよみ) 二階堂貴章(にかいどう たかあき) 小瀬川順幸(こせがわ じゅんこう)

渡邊温子(わたなべ あつこ) 中村香織(なかむら かおり)